

平成 30(2018)年 7 月 11 日

多摩大学 経営情報学部
事業構想学科長・済州平和フォーラム諮問委員 趙佑鎮
学生課・国際交流センター事務課課長 黒瀬洋

多摩大学アジアダイナミズム 韓国 済州平和フォーラム研修 報告書

1. 研修の目的

現代の産業界が最高学府である大学に望むものは、時代の課題をビジネスの現場で解決できる問題解決力をもった人材の育成と、アジア・ユーラシアダイナミズムというパラダイム転換の時代を創造する志や、「地政学的知」を身に付けた人材の育成である。また、多摩大学の基本理念の一つに「国際性」がある。これら大学に課せられた使命から多摩大アジアダイナミズム韓国済州島研修として隣国である韓国において、世界の約 60 カ国 5000 人が集った「第 13 回済州平和フォーラム 2018」(6 月 26 日(火)～6 月 28 日(木))に参加した。参加学生は、東アジアの平和と繁栄を促進するための各国トップによる基調講演、ディスカッションなど、多国間対話と世界のビジネス最前線を肌で感じ、国際関係とビジネスICTへの深い洞察を、アジアの協力と発展についての知見を深めることができる。参加 6 年目の今年は、済州平和研究院訪問視察、済州漢拏大学との学生交流会を開催した。また、高大連携の一環として多摩大学目黒高等学校の生徒と、多摩地域のアクティブシニアを支援するシルバーデモクラシー企画の一環として社会人が参加した。本研修は参加および課題を提出することによりアクティブラーニング実践として単位認定される。

- ① 済州平和フォーラム2018(6 月 26 日(火)～6 月 28 日(木))への参加
- ② 済州平和研究院訪問
- ③ 済州漢拏(ハンラ)大学国際交流セレモニー、学生交流会
- ④ 韓国済州島において各種施設の視察

2. 研修全期間

平成 30(2018)年 6 月 25 日(月)～6 月 29 日(金)

3. 研修先

- ① 済州国際会議場 International Convention Center Jeju (ICC JEJU)
<http://www.iccjeju.co.kr/>

4. 宿泊先

- ① 済州漢拏(ハンラ)大学ホテル(全員:1 日目)
- ② ブヨンホテルアンドリゾート済州 (Jeju Booyoung Hotel & Resort)(一部教員)
<http://www.booyoungjejuhotel.com/>
- ③ ホテル ザボーン (HOTEL THEBORN) (学生:2 日目以降)
<http://hoteltheborn.com/>

5. 参加者 〇内は女子

経営情報学部学生 40 名 1 年次生 22(5)名・2 年次生 9(2)名・3 年次生 9(1)名

多摩大学目黒中学高等学校生徒 5 名 (高校 1 年 4 名(0))

※日本経営者訪問団 56 名 ※多摩大学シルバーデモクラシー企画参加 4 名

6. 研修引率者

田村嘉浩 理事長(学校法人田村学園理事長、多摩大学目黒中学・高等学校校長)
趙佑鎮 教授(経営情報学部 事業構想学科長)
金美德 教授(経営情報学部 入試委員長)
水盛涼一 准教授(経営情報学部 国際交流委員会委員)
野坂美穂 専任講師(経営情報学部 入試委員会委員、国際交流委員会委員)
黒瀬洋 多摩キャンパス学生課長・国際交流センター事務課長
小林英夫 教授(経営情報学部 経営情報学科長・学長室長) ※シルバーデモクラシー企画引率
小西英行 准教授(経営情報学部 教務委員会副委員長) ※自主参加
佐藤文平 非常勤講師 ※自主参加
高昌弘 非常勤講師 ※自主参加
越前泰子 教諭(多摩大学目黒中学・高等学校)

7. 研修詳細日程

<経営情報学部オリエンテーション① 5月31日(木)12:20～12:55>

プログラム概要説明

<経営情報学部オリエンテーション② 6月7日(木)12:20～12:55>

韓国近現代史・南北政府の樹立と分団の固定化 済州 4.3 事件 事前学習(金教授・趙教授)
倫理経営(趙教授)
事前・事後課題について(趙教授)

<経営情報学部オリエンテーション③ 6月14日(木)12:20～12:55>

アジア長寿企業の新価値創造と経営哲学、長寿企業の哲学精神と経営など (趙教授)
海外旅行保険について説明

<経営情報学部オリエンテーション④ 6月21日(木)12:30～12:55>

済州漢拏(ハナラ)大学学生交流会について (趙教授)
オリエンテーション欠席者課題について (趙教授)
集合場所など最終スケジュール・注意事項確認
学園歌練習

<第1日目 6月25日(月)>

07:30 成田国際空港国際線ターミナル第1旅客ターミナル北ウイング JTB カウンターに集合
09:45～12:25 参加者と教職員が KE718 便にて済州国際空港へ
13:30 多摩大学研修団専用バス2台にて済州漢拏大学へ
14:00 済州漢拏大学ホテルにチェックイン
15:00～18:30 国際交流セレモニー、学生交流会(詳細別紙参照)
19:00 済州漢拏大学内ホテル 夕食会

<第2日目 6月26日(火)>

07:00 朝食ブュッフェ(ホテル1階レストランにて)
09:00 集合・チェックアウト・バス移動
10:00～11:30 K・POP ミュージアム視察

11:40～12:20 昼食(サムギョッサル)
 12:45～13:45 西帰浦 EMART ショッピング
 14:30 中文観光団地 多摩大生宿舎 THE BORN HOTEL チェックイン
 15:00 済州国際会議場(ICC)到着・受付登録
 15:20～16:50 『環太平洋平和公園都市協議体コンファレンス』済州特別自治道主管
 17:10～18:10 『世界難民問題の今日と明日』 中央日報主管
 17:10～18:10 『歴史和解と未来志向的日韓関係』 東北アジア歴史財団主管
 19:00～20:10 夕食(近郊レストラン・海鮮チゲ)
 20:30～21:30 日本訪問団懇親会、福田元首相挨拶、記念写真、人間開発研究院会長挨拶
 21:40 ホテル到着・解散

<第3日目 6月27日(水)>

07:00 朝食buffet(ホテル B1 階レストランにて)
 08:30 集合・バス移動
 08:40～09:00 済州国際会議場にて全体ミーティング
 09:00～10:00 [全体セッション I] 『グローバル貿易戦争と東北アジア安全保障環境』
 ポール・クルーグマン|ノーベル経済学賞受賞者
 10:20～11:00 [開会式]
 11:00～12:30 [世界リーダーセッション] “アジア平和の再定立” 福田康夫元日本国総理、
 パン・キムン前国連事務総長、元カナダ総理ブライアン・マルルーニー
 12:30 昼食(buffet)
 13:30～15:00 [特別セッション] 日韓両国友好協力増進方案』日韓議員連盟主管
 『小沢-金大中共同宣言 20 周年記念日韓両国友好協力増進方案』
 額賀福志郎衆議院議員・日韓議員連盟会長、韓国国会議員等
 15:20～16:50 [企画セッション] 『小沢-金大中宣言 20 周年記念 日韓両国文化交流増進方案』
 15:20～16:50 [セッション] 『4次産業革命: 企業活動のための新フレームワーク』 フリドリッヒナウマン財団
 17:05～18:40 [日本セッション I・日韓交流記念公演] 多摩大学・東京都倫理法人会主管
 『従来型経営の終焉、倫理経営転換が新たな市場を創出～哲学あるリーダーが成功する企業をつくる』
 多摩大学・東京都倫理法人会主管 発表(各 25 分) 討論(30 分) 質疑応答(15 分) 座長: 趙佑鎮
 黒澤真次(イカリ消毒会長)
 文国現(ムン・グヒョン) (ニューパラダイムインスティテュート代表、元柳韓キンバリー社長、元国会議員大統領候補)
 19:00～20:15 [日韓大学生国際平和交流団セッション] 多摩大・済州漢拏大 司会: 趙佑鎮
 『文化・グローバル都市の条件』講演発表: 康禹鉉(カンウヒョン) 耽羅想像グループ代表
 セッション中に夕食(サンドウィッチ)
 20:20～21:20 日本訪問団親睦交流会 (行徳哲男団員挨拶・団長及び学生挨拶・名刺交換・懇親談話・記念公演)
 21:40 ホテル到着・解散

<第4日目 6月28日(木)>

07:00 朝食buffet(ホテル B1 階レストランにて)
 08:30 集合・バス移動
 08:40～09:00 済州国際会議場にて全体ミーティング
 09:00～10:30 [日本セッション II] 多摩大学・100 年経営研究機構主管
 『企業の持続可能経営のための未来戦略』
 後藤俊夫(100 年経営研究機構代表)、ハン・ジョンファ(元中小企業庁長・漢陽大学教授) 発表討論
 座長: チャン・マンギ人間開発研究院会長
 10:50～11:40 [全体セッション] ユネスコ事務総長 オードリ・アズレ特別講演

	『平和と繁栄のためのユネスコの役割: 教育、文化、科学を通じた多者協力』 対談ウオン・ヒリョン済州特別自治道知事
11:50～12:40	[全体セッション] 特別講演 ノーベル平和賞受賞者ホセ・ラモス＝ホルタ元東ティモール大統領 『人類普遍価値としての平和と人権・東北アジアの和解と平和増進』
12:40	昼食(ビュッフェ)
14:00～15:30	[特別セッション] ノーベル文学賞受賞者 ル・クレジオ対談 『和解と共生 幸福に至る済州の道を問う』 済州特別自治道主管
14:00～15:30	[セッション] 『朝鮮半島 新平和パラダイム構築と市民社会の役割』
15:50～17:20	[セッション] 『外信記者が見た 4.3』 済州 4.3 研究所 [セッション] 『オリンピック成功のための日中韓 3国間経済協力 ～Trilateral Economic Cooperation for the Success of Olympic and Paralympic Games』 日中韓 3 国協力事務所
16:10～17:20	[セッション] 『東アジア平和芸術ネットワーク構築』 済州平和研究院・済州特別自治道
17:40～19:10	[セッション] 『済州 4.3 と女性、国家暴力』 済州 4.3 研究所 [セッション] 『朝鮮半島と平和島: 民間レベルの6者会談文化＋平和教育と観光福祉』 済州大学
19:10	夕食(近郊レストラン・海鮮井)
20:00～21:30	済州フォーラム記念平和コンサート
21:40	ホテル到着・解散

<第5日目 6月29日(金)>

07:00	朝食ビュッフェ(ホテル B1 階レストランにて)
08:45	集合・チェックアウト・バス移動
09:00～10:00	済州平和研究院訪問視察 アジア平和・国際関係展示物視察、記念写真
10:00～11:20	済州平和研究院長・済州フォーラム執行委員長特別講演
12:00	昼食(近郊レストラン・ジャージャー麺)
13:00～14:00	耽羅想像共和国 文化視察見学
14:30	済州空港着、搭乗手続き開始
16:10	済州空港 KE1240 便発 → 17:20 金浦空港着(ソウル金浦経由便)
18:45	金浦空港 KE2711 便発
21:05	羽田空港着、解散

8. 今回の済州フォーラムと研修の特徴

多摩大生の毎年度参加が6回目である今回の済州フォーラムと研修の特徴は下記の通りである。

- ・フォーラム貴賓として招かれた福田康夫元首相は、日本訪問団懇親会に参加し、多摩大生のための挨拶を行い、ビジネスにおける平和の大事さ、外国語とコミュニケーション力を磨くことを強調し、これからのアジア時代は若者が担うことについて激励した。
- ・教職員の相互協力とこれまでの経験値によって、学生の事前学習及びセッション学習の誘導や引率、トラブル処理において円滑に行われた。また、6回目の多摩大企画の日本セッションも参加人員の量と議論内容の質において、去年同様に済州フォーラムに十分な貢献をしたと評価された。
- ・学生のフォーラムに臨む姿勢態度も去年以上に向上している。去年はセッションでの学生からの質問や感想表明、議論参加はあまりされなかったが、今年は活発に行われた。
- ・済州フォーラム開会式基調演説での李洛淵(イ・ナクヨン) 韓国首相のメッセージは、韓国政府の朝鮮半島恒久平和への強い意志を示すものであった。南北・米朝首脳会談によって世界の注目を浴びている朝鮮半島情勢を反映してか、フォーラムの内外の注目度は高かった。
- ・キム・ソンフン済州漢拏大学総長とソ・ジョンハ済州平和研究院長兼済州フォーラム執行委員長は、引率の田

村嘉浩田村学園理事長、教職員及び学生に対し、多摩大学の 6 年連続の済州島研修について日韓交流の貴重なモデルとして敬意を示し、今後とも全面的協力支援を表明した。

- 高大連携の一環として多摩大学目黒中学高等学校生徒 5 名は、多摩大教員の事前学習も受け、研修期間中に大学生と交わりながら、セッション参観も集中力を持ちながら十分にこなした。
- シルバーデモクラシー企画として学長室長引率の元、モニタリングとして参加した地域のシルバー4 人も無事日程を終え、内容の充実さを満足していただいた。
- 多摩大生のための、ソ・ジョンハ済州平和研究院長兼済州フォーラム執行委員長の日韓関係をテーマとした講義においては、学生からの反応は去年以上に高く、質疑応答も活発に行われた。
- 済州漢拏大学の交流会は、盛大な歓迎ぶりで、キム・ソンフン済州漢拏大学総長自らが、多摩大生のために日本語で特別講義を行った。済州漢拏大学学生もフレンドリーに多摩大生に接してもらい、そのため、韓国人と国際交流へのイメージと抵抗感も変化したという感想が聞かれた。

以上

多摩大学・済州漢拏大 国際交流セレモニー、学生交流会

日時:2018 年 6 月 25 日(月)

時間:15 時開始(予定)

場所: 済州漢拏大学 漢拏コンベンションホール(金湖世界教育館 A棟 1階)

進行: 鄭礼実(観光日本語科学科長)

内容

15:00～	↑	(1)開会の言葉
		(2)歓迎の演奏(カヤゲン)
		(3)両大学出席者紹介
1 部		(4)両大学・記念品の交換
		(5)済州漢拏大学 金星勲総長 挨拶
		(6)多摩大学 田村嘉浩理事長 挨拶
		(7)済州漢拏大学 金星勲総長 挨拶・特別講演 『不完全性の歴史』 (約 70～90 分(質疑応答含む))
		(8)韓日学生代表 記念品贈呈
	↓	
16:30～	↑	(9)済州漢拏大学、歌披露(①故郷の春、②さくら、③大長今(テジャングム)) 空手披露(発表者:キム・ジウク) 10分程度 学生発表(発表者:コ・ドヨン)…5分程度
		(10)多摩大学、校歌披露 校歌紹介『日本歌謡作詞作曲界の巨星』(多摩大学 趙ゼミ生発表)、 日本における韓国文化について(多摩大学 趙ゼミ生発表)
2 部		
17:00～		(11)各テーブルで歓談(15 分～20 分程度)
		(12)セレモニー・交流会総括(両大学代表・挨拶)
		(13)記念撮影
		(14)閉会の言葉
	↓	

※17:30～国際交流セレモニー終了後、漢拏大学構内視察(1時間程度)

※19:00～(予定)多摩大学側は大学内ホテル夕食会場にて夕食(済州漢拏大学学生は解散)



濟州漢拏大学ホテル前にて集合写真



濟州漢拏大学 国際交流会



韓国文化視察(K・POPミュージアム)



環太平洋平和公園都市協議体コンファレンス



日本訪問団懇親会 福田元総理挨拶



日本訪問団懇親会集合写真



全体セッション ポール・クルーグマン(右)



全体セッション会場の様子



福田康夫元日本国総理



世界リーダーセッション



日本セッションの様子



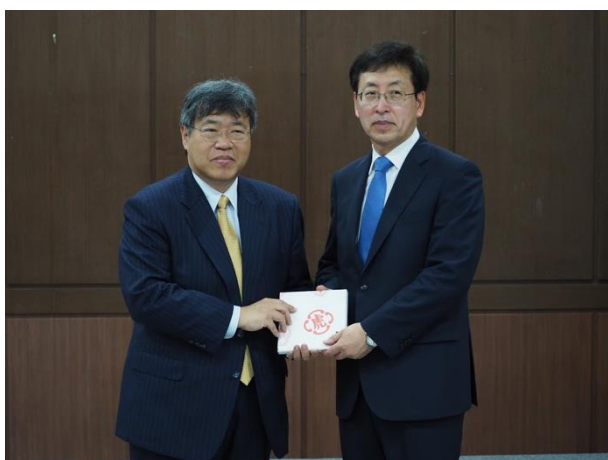
多摩大主管の日本セッションでの元大統領候補 文国現氏
(左)・田村理事長(中央)・趙教授(右)



セッションの様子



済州平和研究院長講演



ソ・ジョンハ済州フォーラム執行委員長と田村理事長



済州平和研究院展示視察



済州平和研究院集合写真



韓国文化視察(耽羅想像共和国)